

2006年度中間決算説明会

- 2006年1月～6月 -

2006年8月3日

株式会社 **シー・エー・シー**

中間決算概要

前年同期比では連結除外の影響で減収減益

(百万円)	2006年度 中間期 期初見通し	2006年度 中間期実績	2005年度 中間期実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	18,500	18,506	33,378	14,872	▲ 44.6%
売上総利益	3,700	3,501	5,047	1,545	▲ 30.6%
経常利益	1,100	1,193	2,554	1,360	▲ 53.3%
当期純利益	500	473	1,021	548	▲ 53.7%

売上総利益率	20.0%	18.9%	15.1%
経常利益率	5.9%	6.5%	7.7%
当期純利益率	2.7%	2.6%	3.1%

中間決算ハイライト

売上高 前中間期比 44.6%減 148.7億円
・ 連結除外の影響 148.6億円

売上総利益 前中間期比 30.6%減 15.4億円
・ 連結除外の影響 15.3億円

経常利益 前中間期比 53.3%減 13.6億円
・ 連結除外の影響 10.9億円
・ CAC単体 3.3億円

中間純利益 前中間期比 53.7%減 5.4億円

売上総利益は計画比で未達だが、
営業外損益の寄与で経常利益は期初計画水準
しかし、特別損失があったため中間純利益は計画比で未達

サービス別売上高と総利益(連結)

(百万円)		2006年度中間期		2005年度中間期		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	構築	9,861	53.3%	24,818	74.4%	14,957	60.3%
	運用管理	8,644	46.7%	8,510	25.5%	134	+1.6%
	その他	0	0.0%	49	—	49	
	合計	18,506	100.0%	33,378	100.0%	14,872	44.6%

		金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
売上総利益	構築	1,979	20.1%	3,766	15.2%	1,786	47.4%
	運用管理	1,522	17.6%	1,332	15.7%	189	+14.2%
	その他	0	—	51	—	51	
	合計	3,501	18.9%	5,047	15.1%	1,545	30.6%

IXI連結除外が構築の売上と売上総利益の大幅減少要因となる

- ・ 売上への影響 14,612M
- ・ 売上総利益への影響 1,562M

業種別売上高(連結)

(百万円)	2006年度中間期		2005年度中間期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	3,278	17.7%	3,703	11.1%	424	11.5%
信託	1,863	10.1%	2,343	7.0%	479	20.5%
医薬	4,765	25.8%	4,322	13.0%	442	+10.2%
食品	2,246	12.1%	2,149	6.4%	97	+4.5%
製造	1,199	6.5%	1,215	3.6%	16	1.4%
サービス他	5,152	27.8%	19,644	58.9%	14,491	73.8%
合計	18,506	100.0%	33,378	100.0%	14,872	44.6%

金融・信託：不採算案件対応による機会損失が2Qにも響いて減収

医薬：上位顧客群が順調に伸長し、連結除外の影響(580M)を補って増収

食品：主要顧客向け売上が堅調で増収

サービス他：IXIの連結除外の影響(13,907M)により大幅減収

金融には、都銀・地銀・証券・保険・その他金融を含みます
製造は、医薬・食品を除く、化学・電機・輸送機器などのメーカーです

受注状況(連結)

(百万円)	2006年度中間期		2005年度中間期		受注高増減	
	受注高	受注残	受注高	受注残	金額	増減率
構築	11,045	4,726	24,015	8,042	12,969	54.0%
運用管理	9,464	5,881	8,901	5,216	562	+6.3%
その他	—	0	49	0	49	
金融	3,959	1,707	4,273	1,509	314	7.4%
信託	2,068	906	2,162	900	93	4.3%
医薬	4,974	2,602	4,714	2,090	260	+5.5%
食品	3,175	1,874	2,585	1,480	589	+22.8%
製造	1,133	557	1,273	628	139	11.0%
サービス他	5,198	2,959	17,958	6,649	12,760	71.1%
合計	20,510	10,607	32,967	13,258	12,457	37.8%

IXI連結除外が構築の大幅減少要因となる(13,023M)

金融系は受注環境良好も、生産力不足で受注を抑制

医薬は上位顧客向け拡大で連結除外の影響(261M)を補って増加

食品は上位顧客での受注が拡大

不採算案件の進捗

金融系案件(1)

<完了>

- <要因> ドキュメント品質要求レベルの認識不足で工数増
- <赤字額> 83M・・・2005年度の受注損失引当金で処理完了
- <進捗> 2006年1月から稼働中

金融系案件(2)

<継続>

- <要因> 制作・テスト工数を過小見積り
・・・今年1月にいったん工数増を見通したものの、その後、
対応機能の増加、テスト工数の増加を要することが判明
- <赤字額> 1月末時点 トータルで620Mの見通し
* 2005年の原価分200M、受注損失計上分(特損)420M
現在 トータルで1,016Mの見通し
* 9月までの原価を1Qに特損計上済み 396M
- <進捗> 4月にスケジュールを見直し、9月まで工期を延長
現在は9月終了に向け、見直しスケジュールどおり進捗



2006年度の業績見通し
(2006年1月～12月)



2006年度通期業績予想(連結)

(百万円)	中間期実績	通期予想
売上高	18,506	40,000
経常利益	1,193	2,750
利益率	6.5%	6.9%
当期純利益	473	1,300
利益率	2.6%	3.3%

連結子会社収益は、下期も上期並みの見通し
CAC単体は4Qからの回復を見込む

生産力確保のための体制整備

- ▶ **現行協力会社のリレーション強化、新規開拓推進**
- ▶ **OSE (OutSourcing Engineering) の推進継続**
OSEユニットとして一括外注先選定(40社超)し、
体制構築のできる協力会社確保へ
- ▶ **中国現地法人の最大活用**
高達の技術者を6月末87名 9月末150名と約2倍に増員
中国人研修生の受け入れなどオフショア開発促進策実施
- ▶ **需要拡大期にある金融分野での対応力強化**
7/1以降、順次、金融分野へ人材リソースをシフト
8/1付けで役員クラスを金融分野へ投入
不採算案件からの速やかな要員再配置(第4四半期)



中期経営戦略(2005-2007)の 進捗状況



中期経営戦略2005-2007の基本フレーム

【中期経営戦略】

「既存特化分野の深化」

「マーケティング主導への転成」

実現に向けて

【主な施策】

特化分野に対応した
グループ総合力の強化

戦略的M & Aの継続

中国マーケットへの対応強化

カティエントの設立

2006年上半期における取組み(1)

特化分野集中の進展

- ・ 重点業種向けの比率が上昇
…4分野でのCAC単体の売上比率 70.2% 73.5%

M&Aの進捗

- ・ 2006年7月末現在 実績：1件
推進中：複数件

中国でのオフショア拡大と主要顧客へのITビジネスサポート機能強化

- ・ 上期は高達のオフショア受注が進展
- ・ 3大メガバンクの上海支店向け案件が順調
- ・ CAC上海の上期は計画比で1.5倍の売上高を達成

2006年上半期における取組み(2)

カティエントのソリューション展開

- ・ ビジネス系の専門人材を外部から迎えて陣容を拡充
(05年12月末13名 06年7月末30名)
- ・ 本年1Qより価値創造型のソリューションを順次リリース

Kizasiの事業化

- ・ 6月から事業化スタート
- ・ kizasi事業への協業オファー多数。
選択しつつ、独自展開に加えて協業展開も実施していく。
 - 映画情報サイトへのコンテンツ提供
 - 特化ジャンル(アニメ、旅行など)のコンテンツ提供
 - モバイルサービスの共同開発 など

経営数値目標

【連結】

	2005期 (実績)	2006期 (予想)	2007期 (目標)
売上高	524億円	400億円	700億円
経常利益	37億円	27.5億円	50億円
当期純利益	43億円	13億円	19億円
ROE	27.1%	7.0%	10%以上

【単体】 <ご参考>

	2005期 (実績)	2006期 (予想)	2007期 (目標)
売上高	307億円	325億円	370億円
経常利益	24億円	25億円	30億円
当期純利益	48億円	12億円	15億円



補足資料



サービス別売上高と総利益(単体)

(百万円)		2006年度中間期		2005年度中間期		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	構築	8,773	60.3%	9,208	61.2%	434	4.7%
	運用管理	5,769	39.7%	5,838	38.8%	68	1.2%
	合計	14,543	100.0%	15,046	100.0%	503	3.3%

		金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
売上総利益	構築	1,757	20.0%	2,025	22.0%	268	13.2%
	運用管理	977	16.9%	787	13.5%	190	+24.1%
	合計	2,734	18.8%	2,812	18.7%	78	2.8%

業種別売上高(単体)

(百万円)	2006年度中間期		2005年度中間期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	2,886	19.8%	3,353	22.3%	466	13.9%
信託	1,856	12.8%	2,323	15.4%	467	20.1%
医薬	4,723	32.5%	3,709	24.7%	1,013	+27.3%
食品	1,223	8.4%	1,176	7.8%	47	+4.0%
製造	727	5.0%	750	5.0%	22	3.0%
サービス他	3,125	21.5%	3,732	24.8%	607	16.3%
売上高	14,543	100.0%	15,046	100.0%	503	3.3%

受注状況(単体)

(百万円)	2006年度中間期		2005年度中間期		受注高増減	
	受注高	受注残	受注高	受注残	金額	増減率
構築	9,927	4,543	10,151	4,178	223	2.2%
運用管理	6,086	4,060	5,635	3,543	451	+8.0%
金融	3,531	1,424	3,943	1,342	412	10.4%
信託	2,053	895	2,142	885	88	4.1%
医薬	4,934	2,583	4,411	2,077	523	+11.9%
食品	1,729	1,219	1,132	856	596	+52.7%
製造	688	511	877	598	188	21.5%
サービス他	3,076	1,970	3,279	1,962	203	6.2%
合計	16,013	8,604	15,786	7,721	227	+1.4%

2006年度通期業績予想(単体)

(百万円)	中間期実績	通期予想
売上高	14,543	32,500
経常利益	1,007	2,500
利益率	6.9%	7.7%
当期純利益	461	1,200
利益率	3.2%	3.7%



【お問合せ】

株式会社シーエーシー

広報IRグループ

TEL:03-6667-8010

FAX:03-5641-3207

<ホームページ>

<http://www.cac.co.jp/>